

特集

重症度，医療・看護必要度 overview

重症度，医療・看護必要度の視点から 急性期医療における患者像を概観する

看護必要度は、看護師の業務負荷量を計測するために開発されたツールであり、2006 年度から診療報酬の入院基本料の施設基準に組み込まれました。さまざまな改定を踏まえ、現在は重症度、医療・看護必要度（以下、看護必要度）として、診療報酬上の病棟評価に使われています。しかし、看護必要度は、我が国全体の看護がどのような傾向を示しているのかといった全体像をまだ明らかにしていません。

看護必要度は、2016 年から DPC データの H ファイルとして集積され、大規模データの 1 つとなりました。これにより、多施設のデータを集約し概観することが可能になりました。そこで、今回の企画では、看護必要度という評価項目を通して急性期医療の患者像を概観し、この大規模データベースをマネジメントに活用するための一助になる情報を提供します。

看護必要度に関連した政策の動向◎林田賢史

A 項目、B 項目、C 項目からみる患者像の実態◎森脇睦子

疾患別入院相対日別の看護必要度の実態◎林田賢史

評価票Ⅰと評価票Ⅱの差異◎森脇睦子

評価法ⅠとⅡの差異を改善するための分析例◎森脇睦子

2016 年度基準と 2018 年度基準の比較◎森脇睦子

【座談会】

いま、あらためて「重症度，医療・看護必要度」を考える
質管理・政策の視点からの展望◎秋山智弥／林田賢史／森脇睦子

巻頭シリーズ

アートとケア◎末安民生

編集後記

▶在宅勤務，ステイホーム週間を過ごす中で、曜日感覚が失われています。卓上に日めくりカレンダーを置き、月日・曜日を確認する日々です。▶ステイホーム週間中は、公私ともに何名かの方にお声がけをいただき、Zoom や LINE を使ってオンラインのグループ対話を経験しました。特に看護教員の方々から、遠隔授業の準備に奮闘されるお話を伺い、刺激を受けました。▶最近、Zoom、Instagram、youtube などで医療者の方などのライブセミナーを結構受講しています。正直、オンラインでの対話やセミナーに自分にはなじめないだろうと思っていたのですが、意外にはまりました。普段はお会いできないような講師のお話を自宅から聞けますし、リアルな講演会では手を挙げて質問することはためらわれますが、オンラインであればコメント欄などで気軽に質問ができます。今後、読者の皆さまにオンラインで学びの機会をご提供できればと……という願望も生まれています。

(小齋)

▶今号の編集をした期間には在宅勤務が中心となりました。どうしても新型コロナウイルス感染関連のニュースに意識がいきますが、看護師やその家族への誹謗中傷があると聞いたニュースを目にし、怒りよりもやりきれない思いがつのりました。そのような中で、日本看護倫理学会が発信した声明「新型コロナウイルスと戦う医療従事者に敬意を」は、マスコミにも取り上げられ一般にも認識が広まったと感じています。本誌としても、何か看護師の皆さまを応援することはできないかと考える中で、現在本誌でも連載をしている勝原裕美子氏に現場の看護師や看護管理者へのメッセージをご執筆いただきました。▶自分の所属先に守られ大切にされている、自分たちの仕事が認められていると感じられることがどれだけ支えになるのかを見聞しました。看護管理者によるサポートや、先を見据えたリーダーシップが求められていくと感じています。

(石塚)

看護管理 第 30 巻第 6 号

2020 年 6 月 10 日発行（毎月 1 回 10 日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2020, Printed in Japan

定価 本体 1500 円＋税

2020 年年間購読料

冊子版 本体 16920 円＋税

冊子＋電子版/個人 本体 19920 円＋税

電子版/個人 本体 16920 円＋税

(いずれも送料弊社負担)

『看護管理』編集室（担当：小齋，石塚，伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

[年間購読のお申し込み先]

医学書院販売・PR 部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学，病院，診療所，企業などにおいて、業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構委託出版物）複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-5244-5088 FAX03-5244-5089 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された [0917-1355/20/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY] は、1 論文 1 回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPY へのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook, twitter やってます！

facebook アカウントをお持ちの方は「いいね！」をお願いします。

//www.facebook.com/kangokanri1991/

twitter アカウントは、@kangokanri です。

合わせてフォローをお願いします。

//twitter.com/kangokanri